

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 013	提案機関名 自然環境保全センター
要望問題名 自動撮影カメラを用いた各種調査結果の集約による希少種・外来種等の生息状況把握	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 現在、丹沢山地では、各種のモニタリング事業により自動撮影カメラを用いた野生動物(主にシカ)の生息状況調査が行われている。自動撮影カメラを用いた調査では、様々な野生動物(哺乳類)が撮影されるが、調査対象種以外の種については、参考としてデータが整理される程度の使用状況と思われる。 一方で、丹沢大山自然再生計画では希少動植物の保全と外来種の監視と防除が、特定課題として整理されているが、対策を考える際の基礎となる、ツキノワグマ等の希少動物やアライグマ等の外来生物の生息状況の把握が不十分な状況にある。 そこで、自動撮影カメラを用いた各種調査の結果を集約・整理し、丹沢山地におけるツキノワグマやアライグマ等の生息状況の基礎資料を作成していただきたい。	
解決希望年限	1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>
対応を希望する研究機関名	農業技術センター 畜産技術所 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター <input checked="" type="checkbox"/>
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	研究連携課
対応区分	実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可 <input type="checkbox"/>		
試験研究課題名 (、 、 の場合) 水源林の施業技術の改良、シカ生息環境モニタリング			
対応の内容等 水源林整備地において下層植生が少ない要因をシカと想定して、センサーカメラによる利用状況調査を平成22年度から実施しています。その過程で、全体としてシカの撮影頻度ももっとも高いことや、ツキノワグマなどの他の野生動物も撮影されることを確認しました。今年度からはシカの生息環境モニタリングやワイルドライフレンジャーの捕獲においてもセンサーカメラを仕掛ける予定です。そこで、他の野生動物のデータを取得できた際には、位置情報を含めて結果を報告するようにします。			
解決予定年限	1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>		
備考			